

今日のトピック **メキシコ中銀が予想を上回る0.5%の利上げ インフレを警戒、米国金融政策の転換も考慮**

ポイント1 政策金利は5.5%に

- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は12月16日に金融政策決定会合を開き、政策金利を0.5%引き上げ5.5%としました。中銀による利上げは今回で5会合連続となります。大方の予想は0.25%の利上げでしたが、高水準のインフレに加えてタカ派に転じた米国の金融政策も考慮し、金融引き締めペースを加速させた格好です。

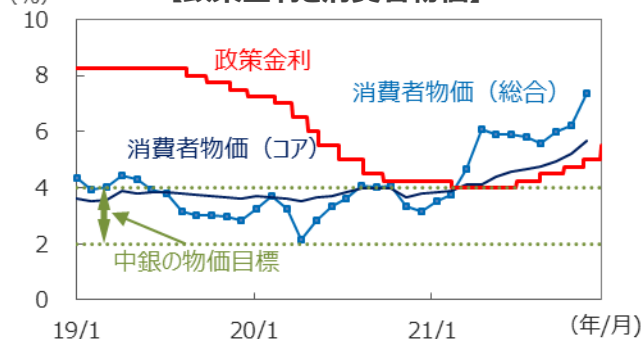
ポイント2 インフレは20年ぶりの高水準

- 11月のメキシコの消費者物価指数は、前年同月比で7.37%の上昇となりました。変動の大きい食品やエネルギーを除いたコア指数でも同5.67%の上昇となり、20年ぶりの高水準となりました。
- 高騰が続くインフレや米国をはじめとする諸外国の金融政策も考慮し、中銀は今後も金融引き締めを継続するものと思われます。弊社では、メキシコの政策金利は、来年末までには6%まで引き上げられるものと予想しています。

今後の展開 新中銀総裁の動向に注意

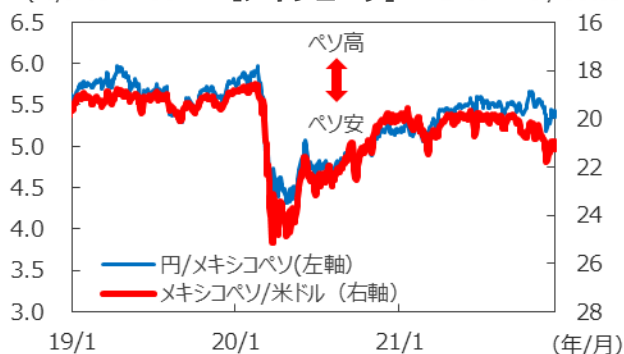
- 米国の景気回復を背景とした経済活動全般の正常化に加え、資源価格の高騰や金融引き締めを受けた短期金利の上昇などが、引き続きメキシコペソにとって追い風となりそうです。
- ただし、今年12月末に任期が切れる、中銀総裁の後任人事には注意が必要です。ロペスオブラドール大統領が指名した後任の現財務副大臣ビクトリア・ロドリゲス氏は、政治的に大統領と近い人物と言われていますが、これまで財務省では目立った活躍はなく、金融政策でも特筆すべき経験がないことから、中銀総裁としての手腕は未知数と言えます。今後の政策運営を通じて中銀の独立性や通貨の番人としての市場の信認が揺らぐようなことがあれば、メキシコの金融市場に動揺が走る可能性があります。注意が必要です。

【政策金利と消費者物価】



(注) 政策金利は2019年1月1日～2021年12月16日。
消費者物価は前年同月比、2019年1月～2021年11月。
(出所) FactSet、メキシコ中央銀行のデータを基に
三井住友DSアセットマネジメント作成

【メキシコペソ】 (メキシコペソ/米ドル)



(注1) データは2019年1月1日～2021年12月16日。
(注2) メキシコペソ/米ドルは逆目盛。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**ここも
チェック!** 2021年11月12日 **メキシコ中銀が4会合連続で利上げ**
2021年10月 1日 **メキシコ中銀が政策金利を引き上げ**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。